

環境リスクコミュニケーション研修会

県内における化学物質排出量について

令和8年3月18日

新潟県環境局環境対策課

I N D E X

- ▶ 1 P R T R 制度の概要
- ▶ 2 化学物質排出量の状況について（令和5年度）



1 P R T R 制度の概要



P R T R 制度

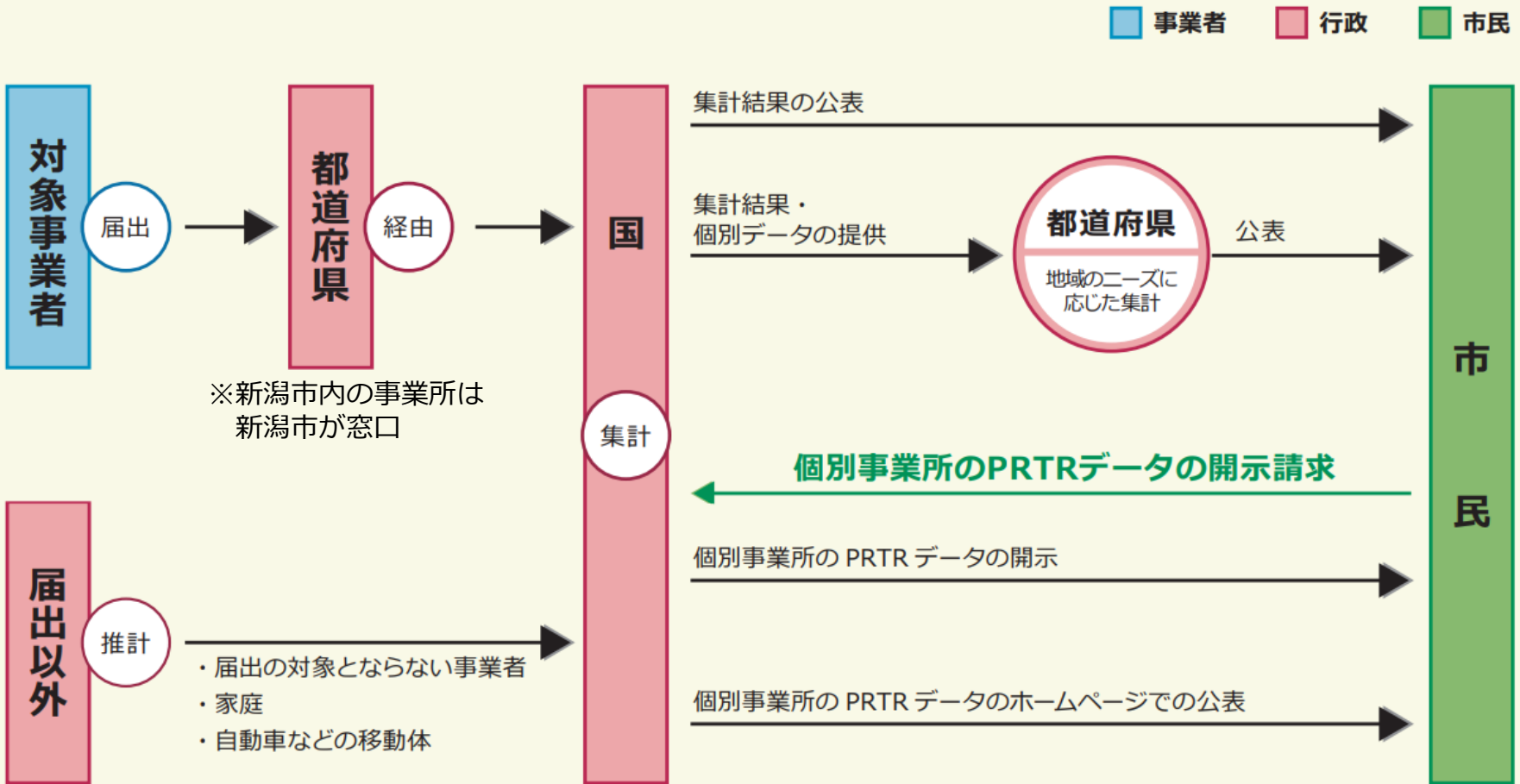
- ▶ 化学物質排出移動量届出制度の略
(Pollutant Release and Transfer Register)

- ▶ 「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(化管法)により制度化
(平成13年度～)



PRTRデータの流れ

● PRTRデータの流れ



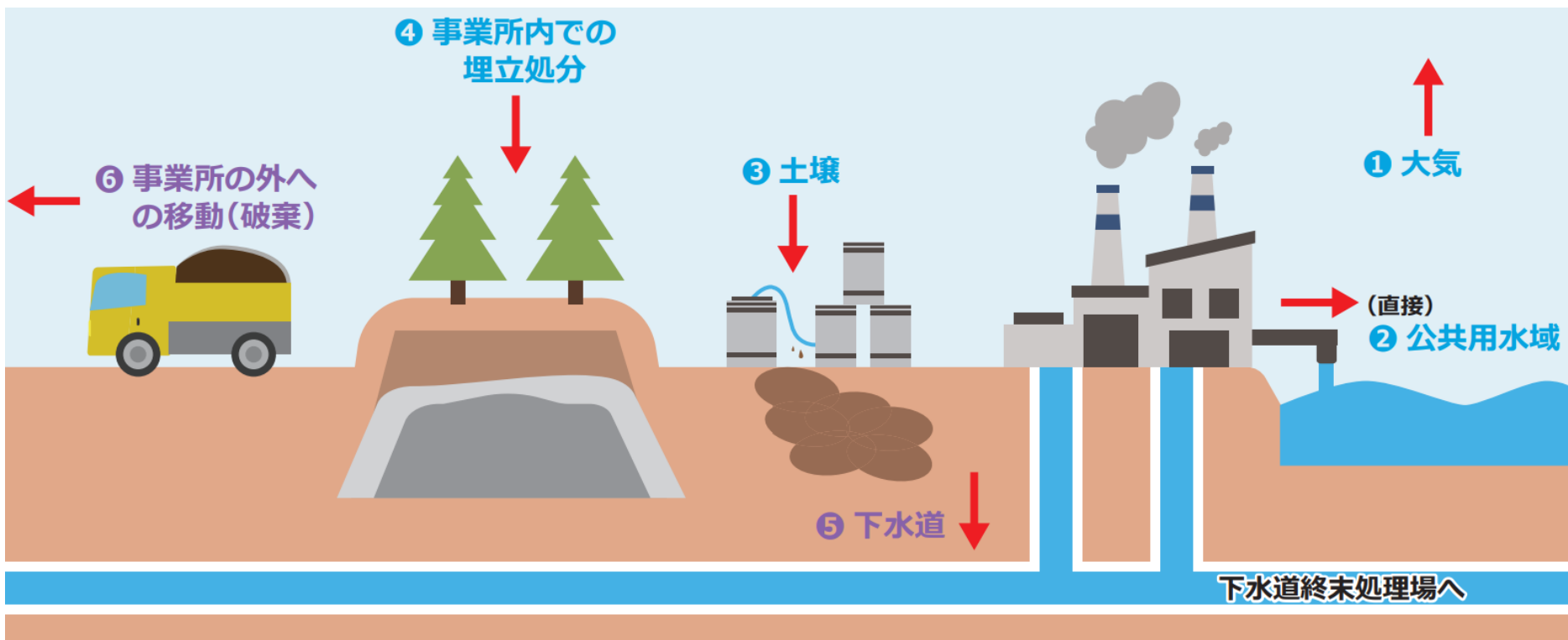
出典：PRTR市民ガイドブック（環境省）
※一部加筆

届出対象事業者

①対象業種	対象業種として政令で指定している 24種類の業種 に属する事業を営んでいる事業者(製造業、燃料小売業など)
②事業者規模	本社及び全国の支社、出張所等を含め、全事業所を合算した 従業員数が21人以上 の事業者
③年間取扱量	いずれかの 第一種指定化学物質の年間取扱量が1トン以上 (特定第一種指定化学物質は0.5トン以上)の事業所を有する事業者等、又は他法令で定める特定の施設(特別要件施設)を設置している事業者 【特別要件施設】 鉱山保安法上の関連施設、下水道終末処理施設、一般廃棄物処理施設／産業廃棄物処理施設、ダイオキシン類対策特別措置法上の特定施設

上記3つに該当すれば事業所ごとに届出が必要！

対象事業者が届け出るもの



【排出量】

- ① 大気への排出
- ② 公共用水域への排出
- ③ 事業所における土壌への排出
- ④ 事業所における埋立処分

【移動量】

- ⑤ 下水道への移動
- ⑥ 事業所の外への移動 (廃棄)

出典：
PRTR市民
ガイドブック
(環境省)

届出対象となる化学物質

第1種指定化学物質：515種類

特定第1種指定化学物質：23種類

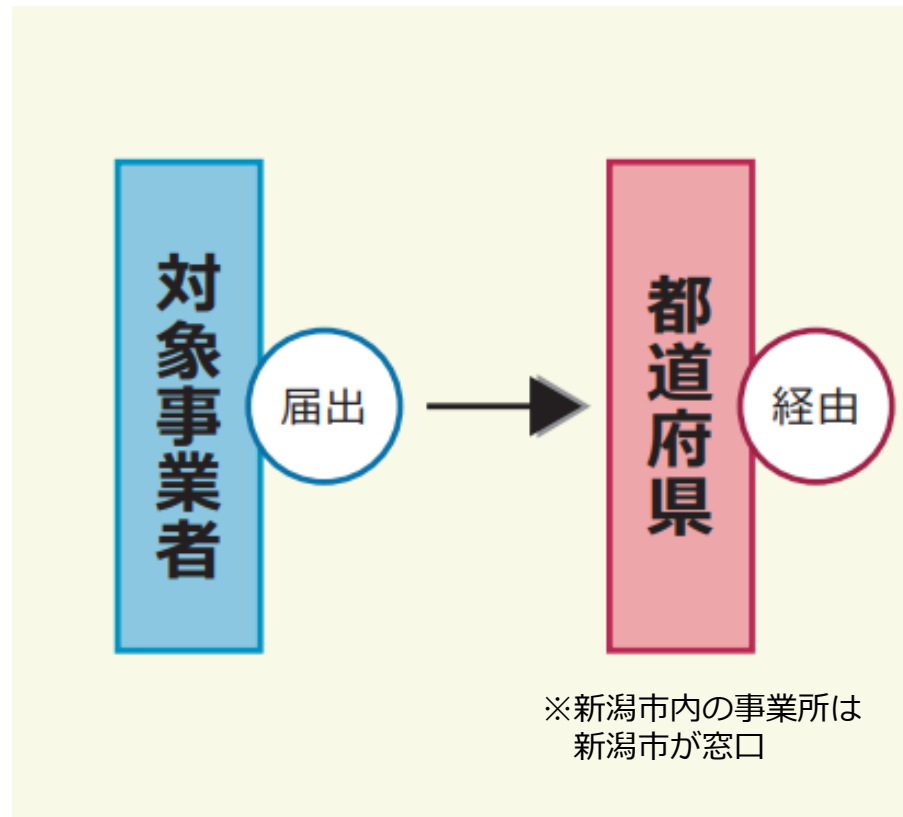
(人に対する発ガン性があると評価されているもの)

- ・石綿
- ・カドミウム及びその化合物
- ・クロロエチレン
- ・鉛及びその化合物
- ・砒素及びその無機化合物
- ・2-ブロモプロパン
- ・ベンジリジン=トリクロリン
- ・ホルムアルデヒド
- ・1,2-ジクロロプロパン
- ・トルイジン
- ・ビス(トリブチルスズ) = オキシド
- ・3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン
- ・エチレンオキシド
- ・六価クロム化合物
- ・ダイオキシン類
- ・ニッケル化合物
- ・1,3-ブタジエン
- ・ベリリウム及びその化合物
- ・ベンゼン
- ・アセトアルデヒド
- ・トリクロロエチレン
- ・ペンタクロロフェノール
- ・ポリ塩化ビフェニル(PCB)

2 化学物質排出量の状況について (令和5年度)

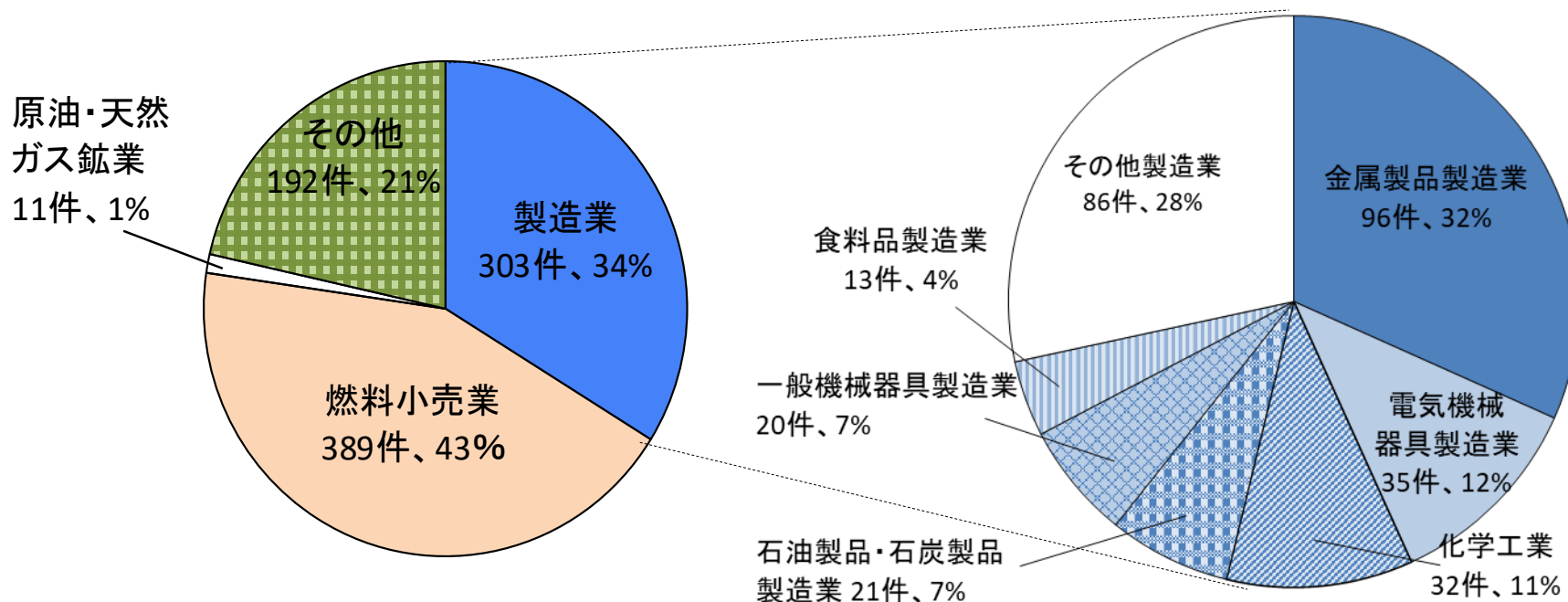


(1) 県内のPRTR届出事業所数



P R T R届出事業所数

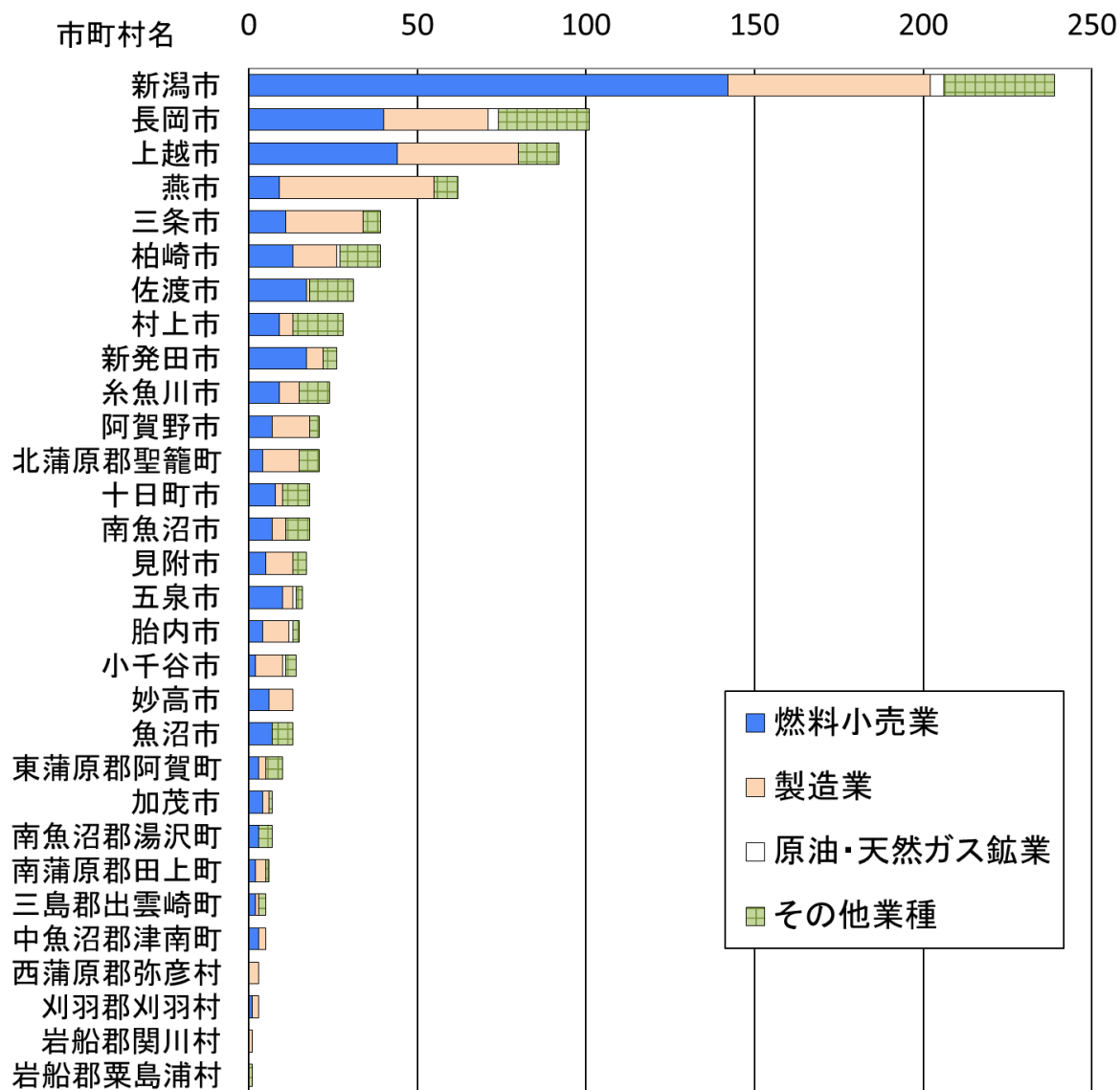
- ▶ 新潟県内では、895事業所から届出
(参考：全国の届出数 (32,502事業所) の2.8%)



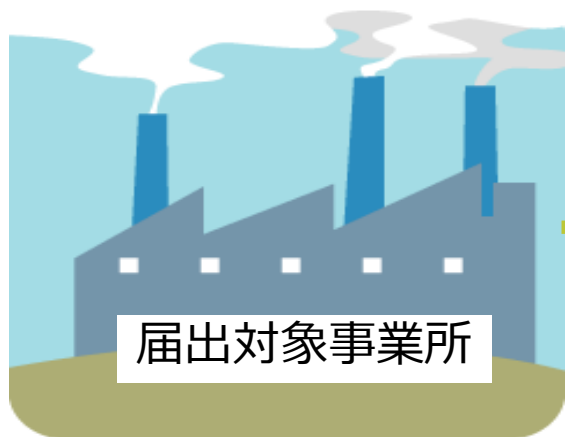
届出件数 (新潟県：業種別)

届出件数 (新潟県：製造業内訳)

市町村別届出件数



(2) 合計排出量（届出＋届出外）の状況



届出
排出量

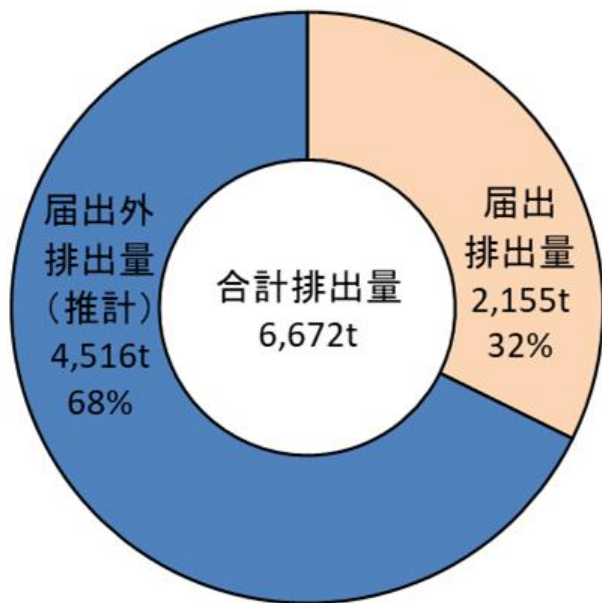
〔届出を
集計した量〕

届出外
排出量

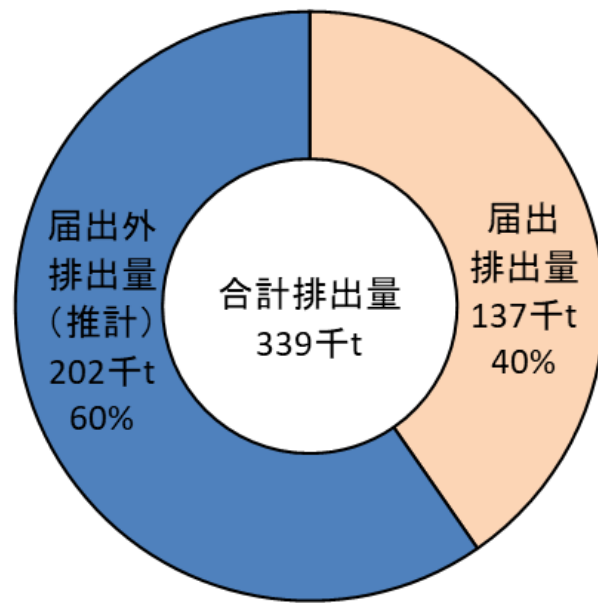
〔国が調査し
推計した量〕

県内の合計排出量（届出+届出外）

- ▶ 新潟県内の合計排出量は6,672t
（参考：全国の合計排出量（339,145t）の2.0%）

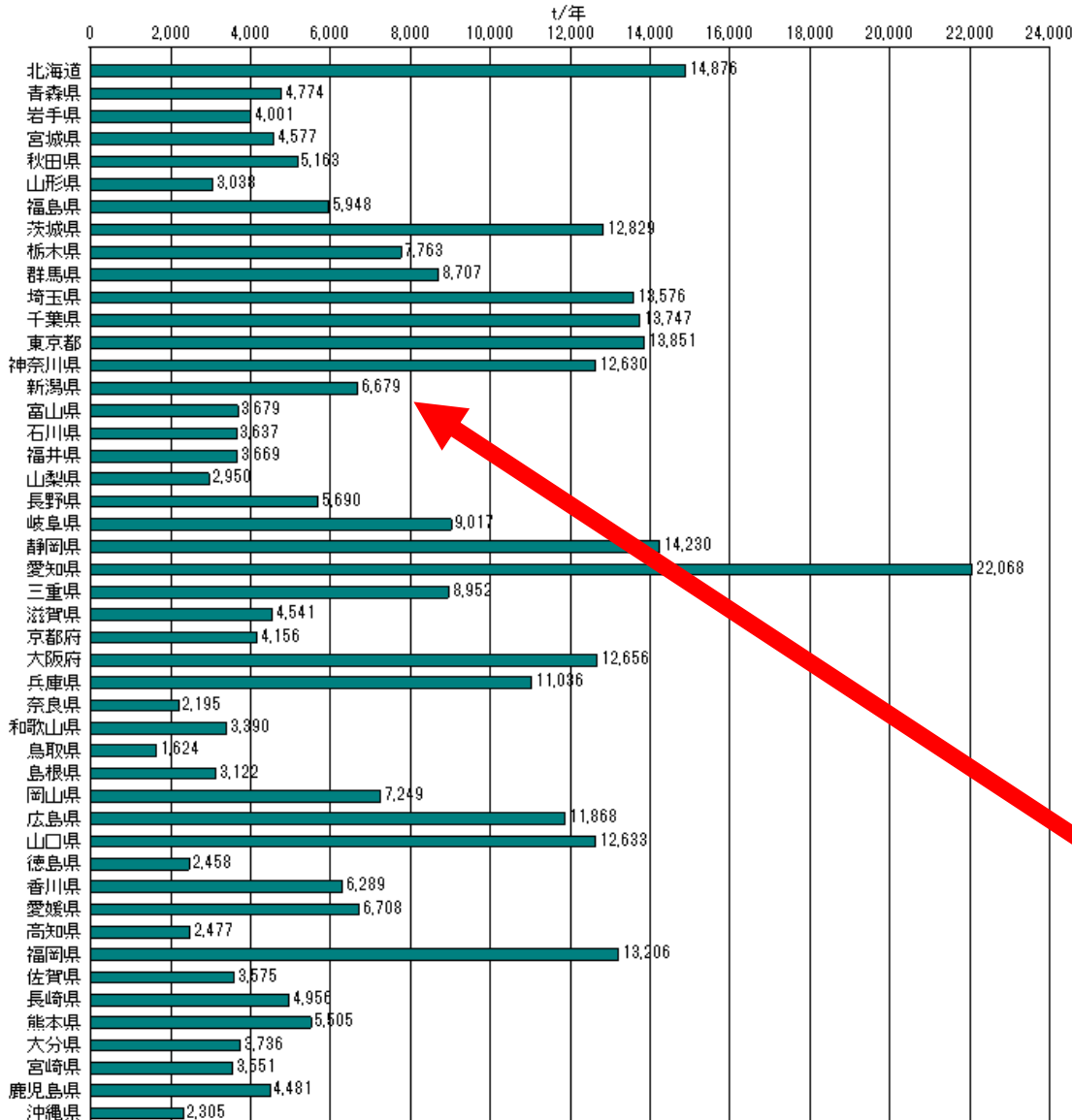


合計排出量（新潟県）



参考：合計排出量（全国）

都道府県別の合計排出量（届出+届出外）

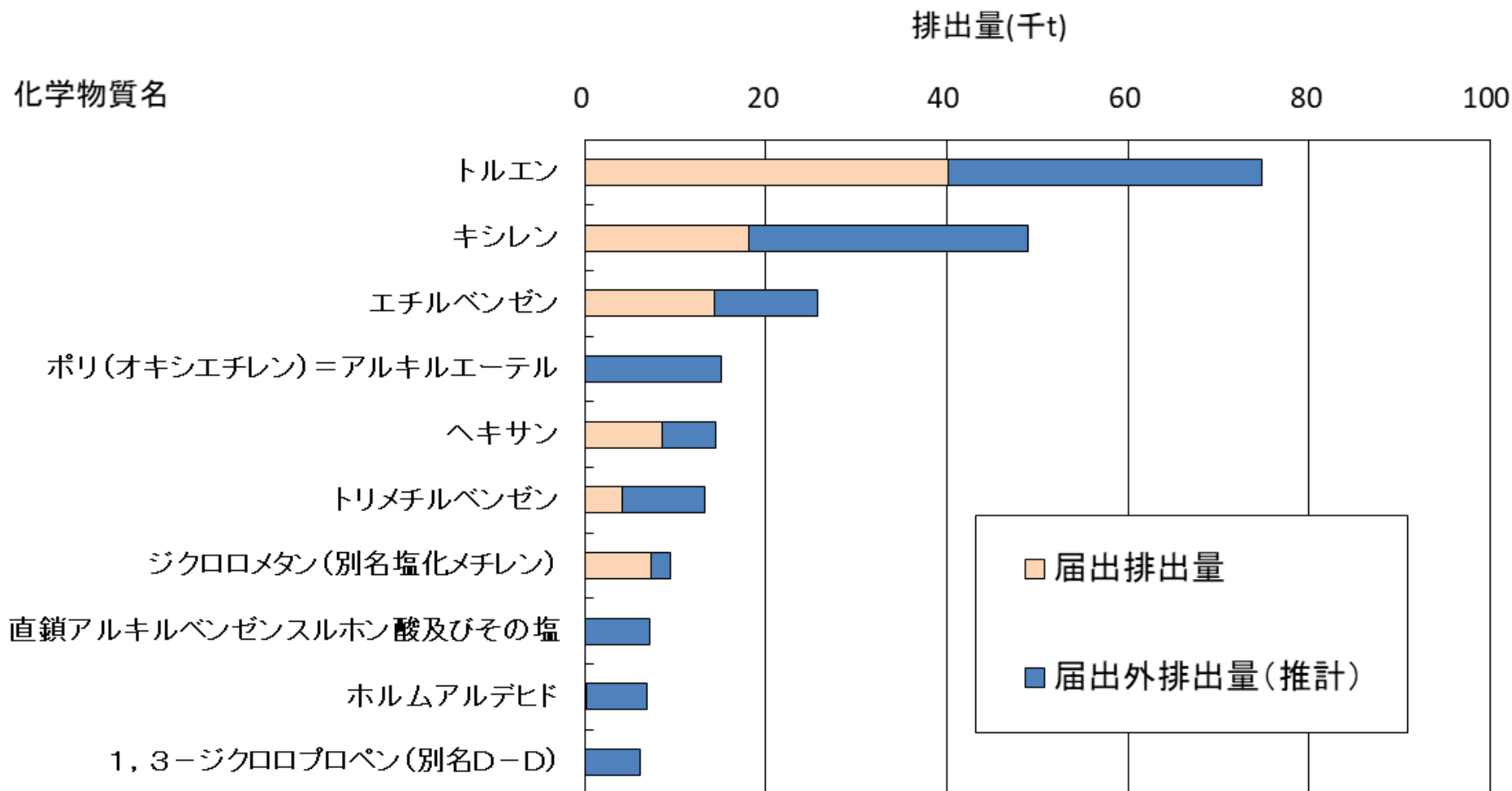


1. 愛知県 22,068 t/年
2. 北海道 14,876 t/年
3. 静岡県 14,230 t/年
4. 東京都 13,851 t/年
5. 千葉県 13,747 t/年
6. 埼玉県 13,576 t/年
7. 福岡県 13,206 t/年
8. 茨城県 12,829 t/年
9. 大阪府 12,656 t/年
10. 山口県 12,633 t/年

20. 新潟県 6,679 t/年

※令和8年2月にデータが更新されたため
前スライドと排出量の値が異なる

排出量上位10物質とその排出量（全国）



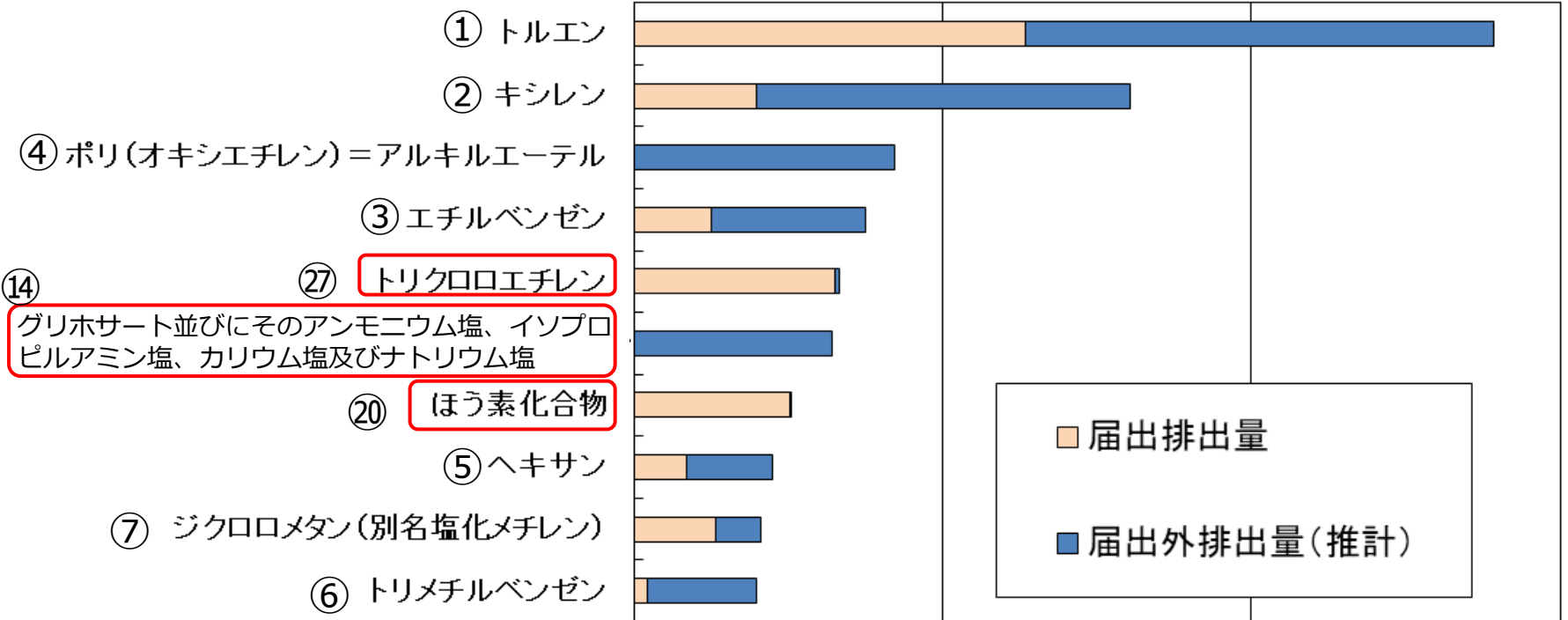
排出量上位10物質とその排出量（新潟県）

排出量(t)

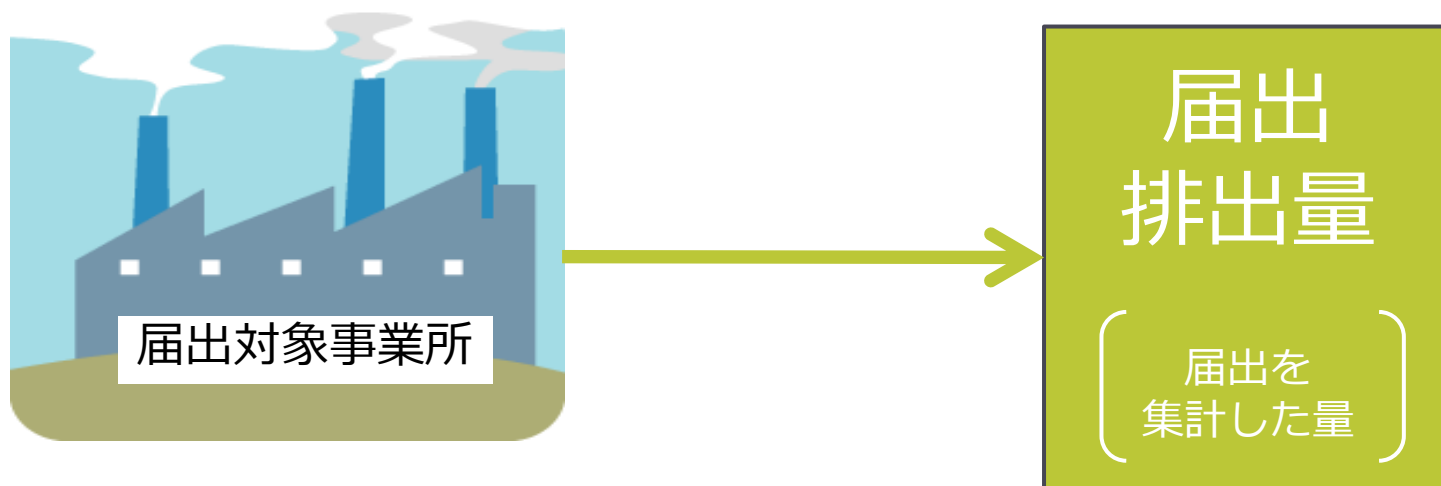
化学物資名

全国での順位

0 500 1,000 1,500

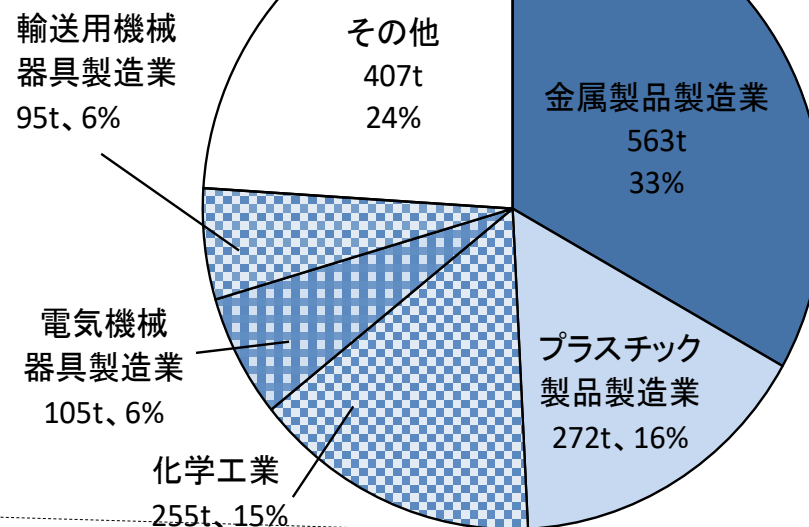
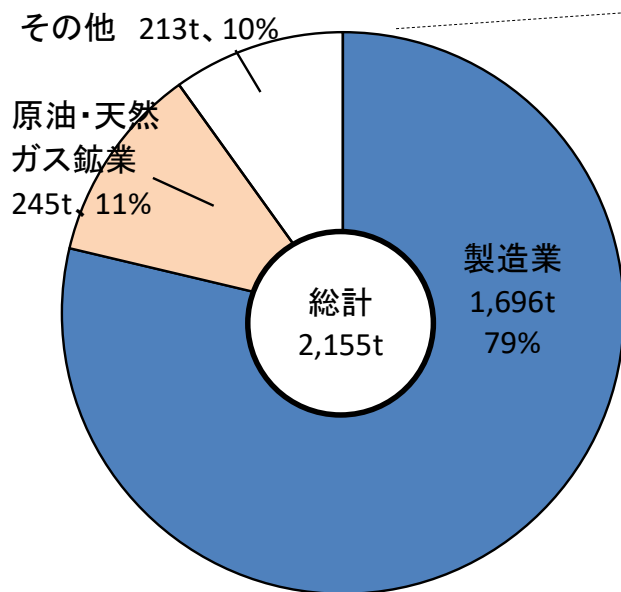


(3) 届出排出量の状況



P R T R届出排出量

- ▶ 新潟県内では、計2,155tの届出
(参考：全国の届出排出量 (136,877t) の1.6%)



届出排出量 (新潟県：業種別)

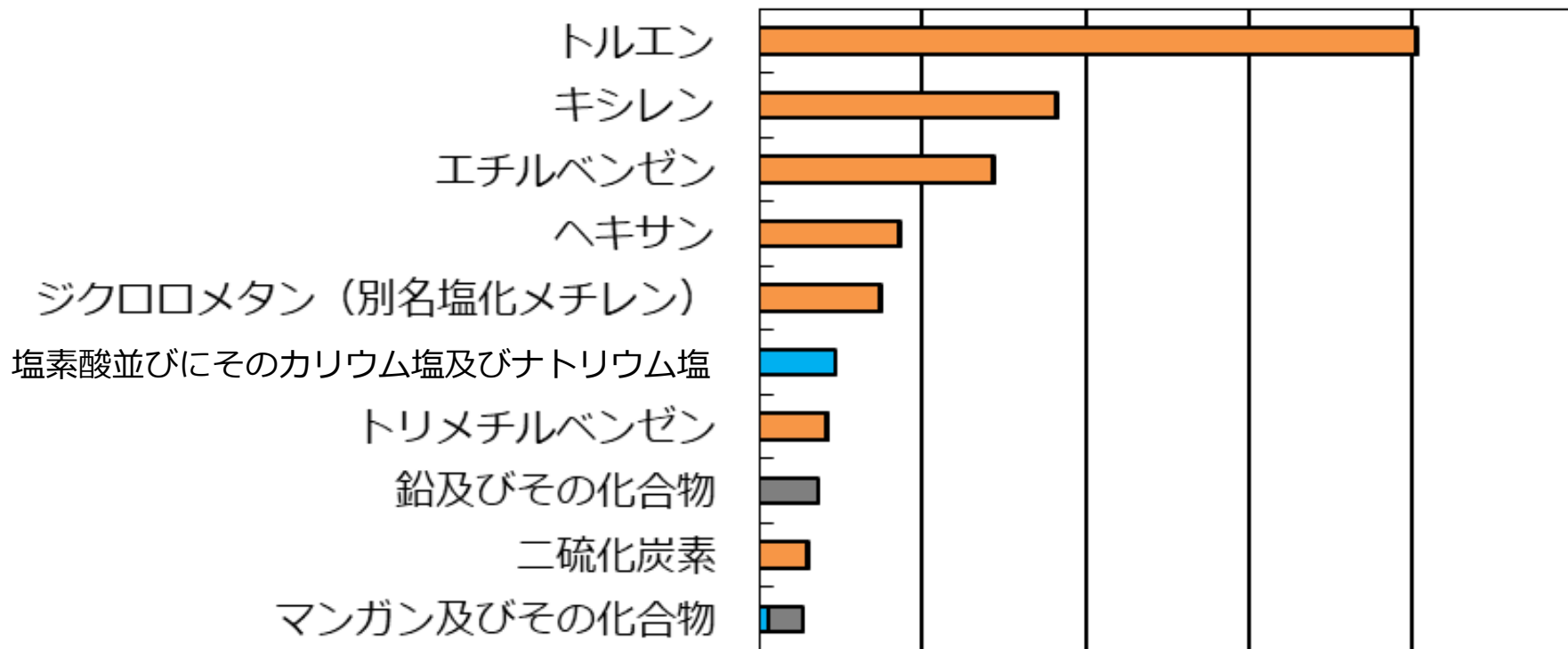
届出排出量 (新潟県：製造業内訳)

届出排出量上位10物質（全国）

化学物質名

排出量(千t)

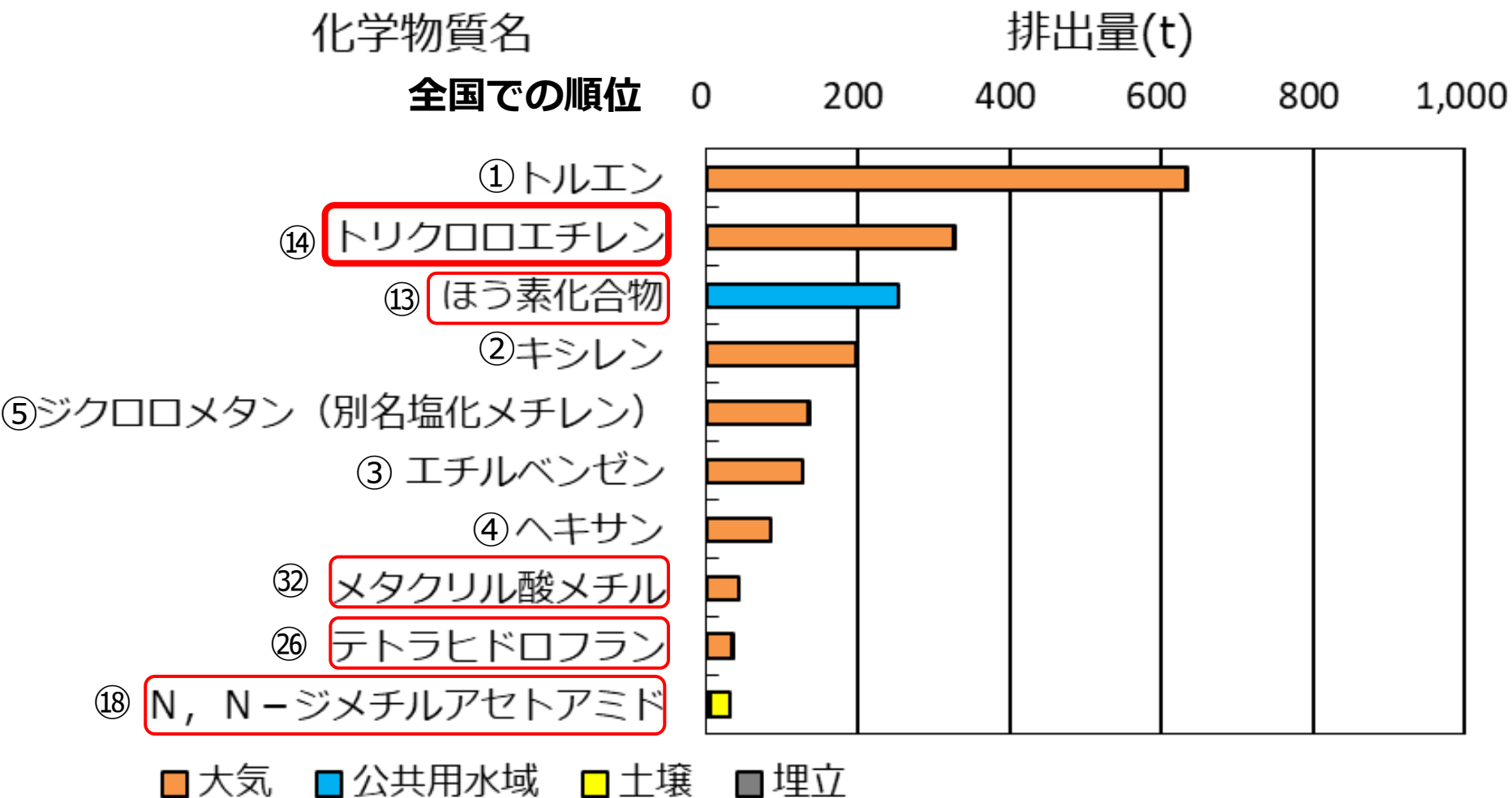
0 10 20 30 40 50



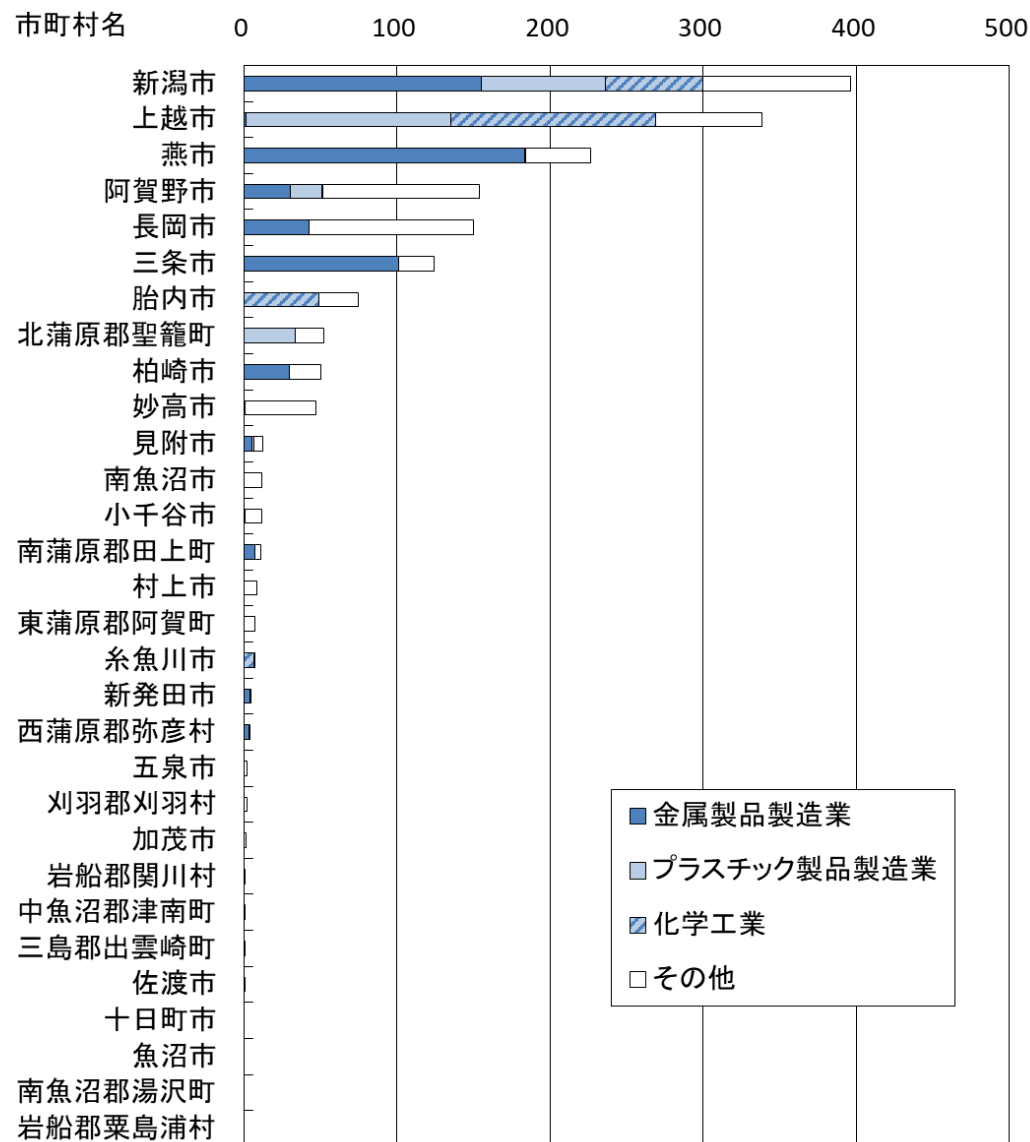
■ 大気 ■ 公共用水域 ■ 土壌 ■ 埋立



届出排出量上位10物質（新潟県）

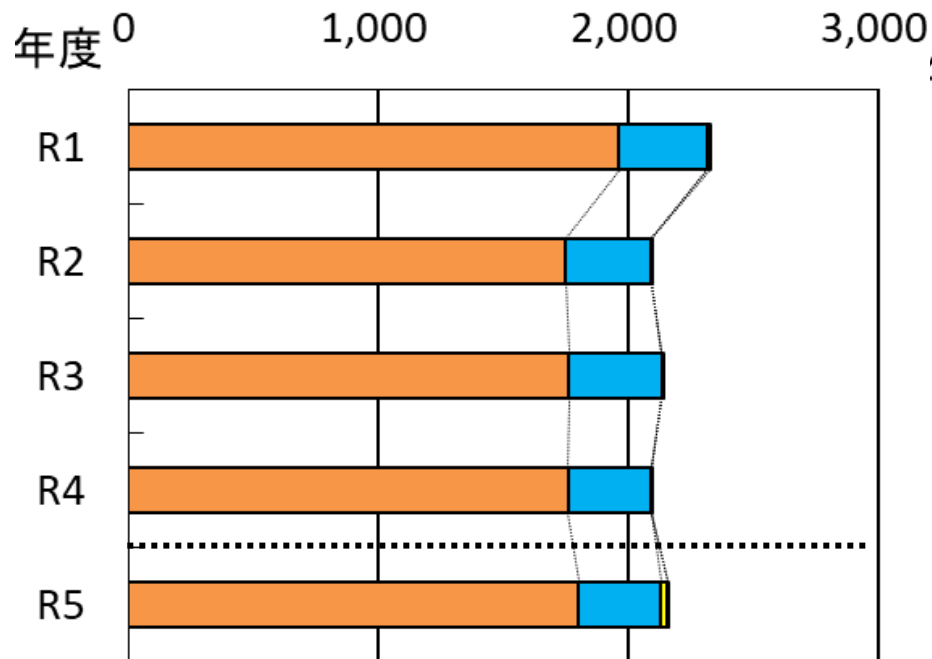


市町村別届出排出量 (製造業)



届出排出量の推移（直近5か年）

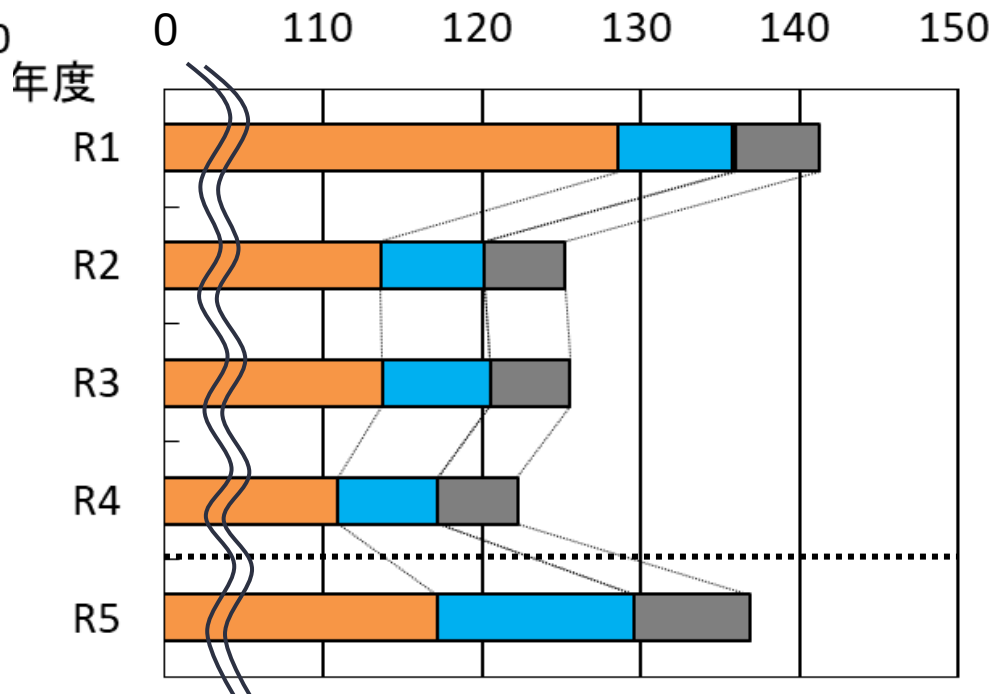
排出量(t)



■大気 ■公共用水域 ■土壌 ■埋立

(新潟県：排出先別)

排出量(千t)

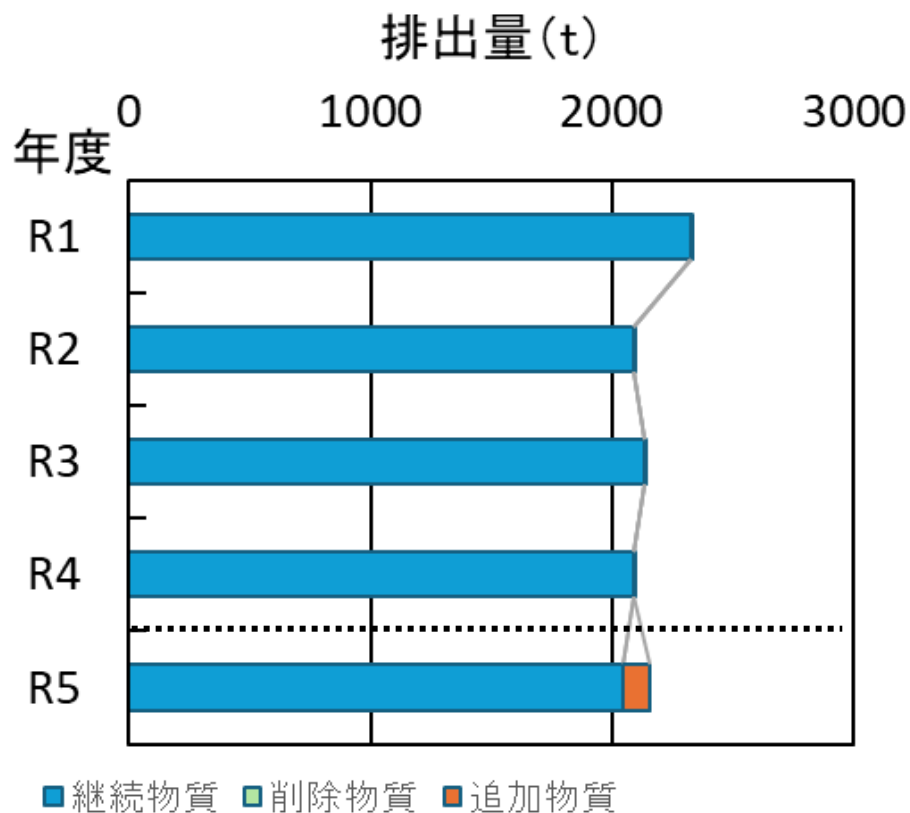


■大気 ■公共用水域 ■土壌 ■埋立

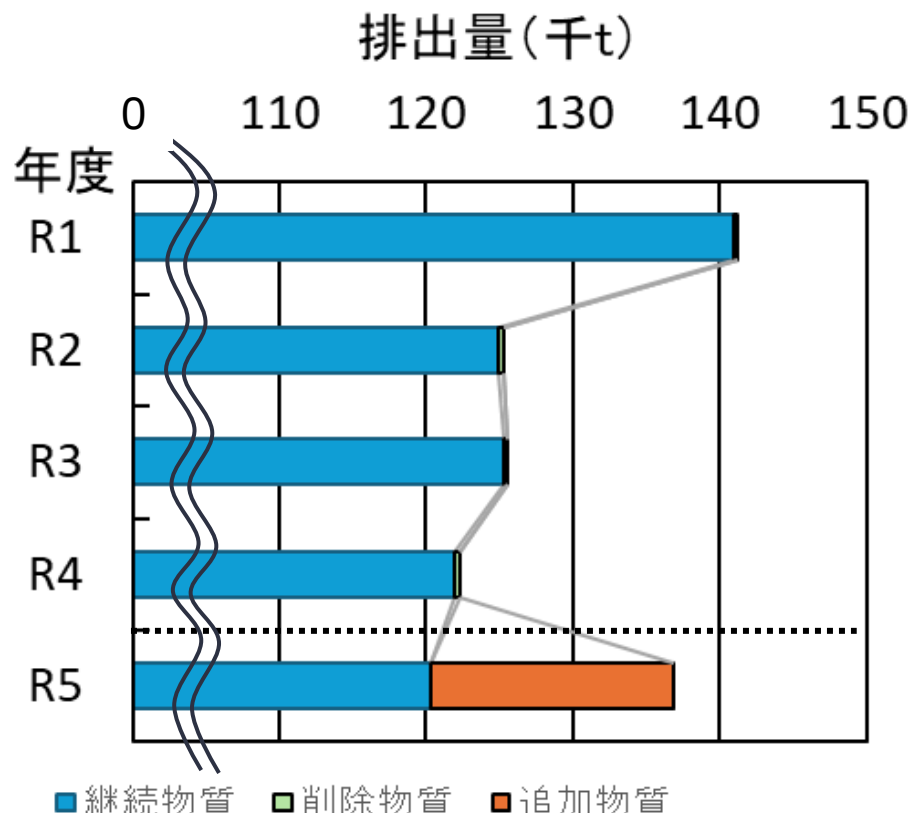
(全国：排出先別)

R5年度から、以下のとおり変更
届出対象物質：462→515

届出対象物質の変更に伴う影響



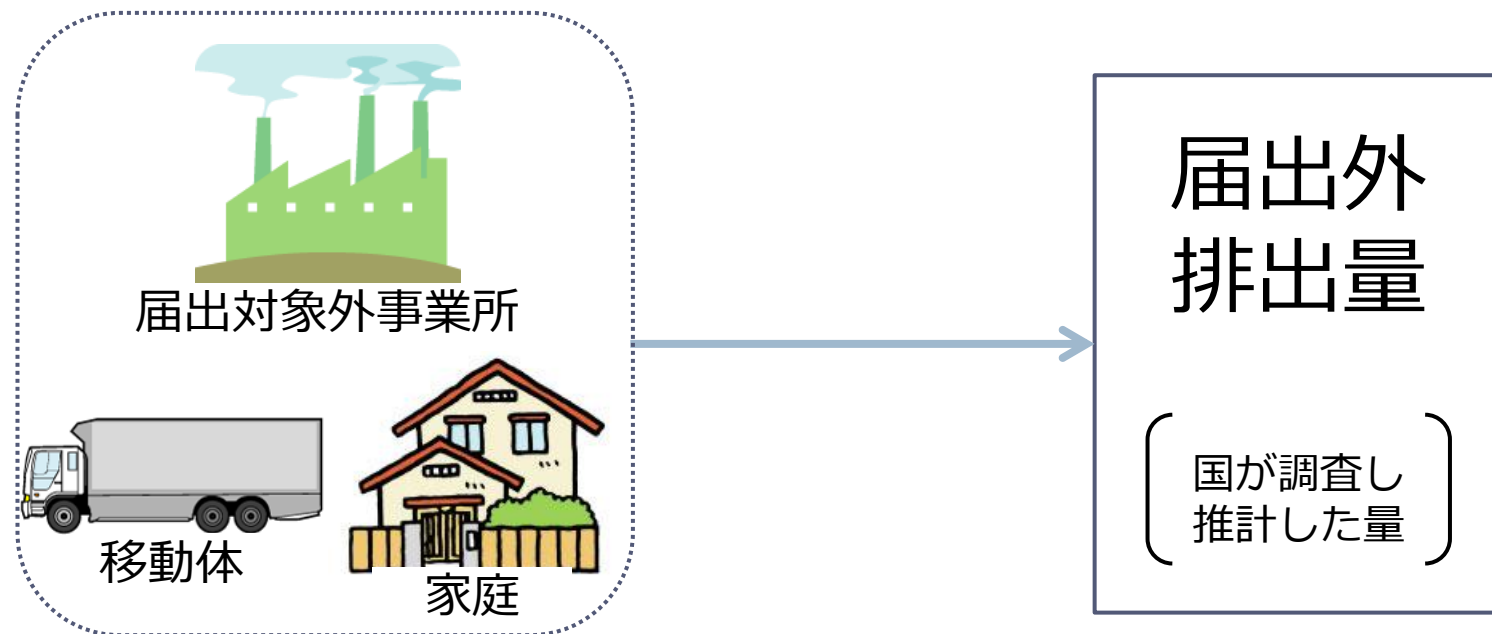
(新潟県)



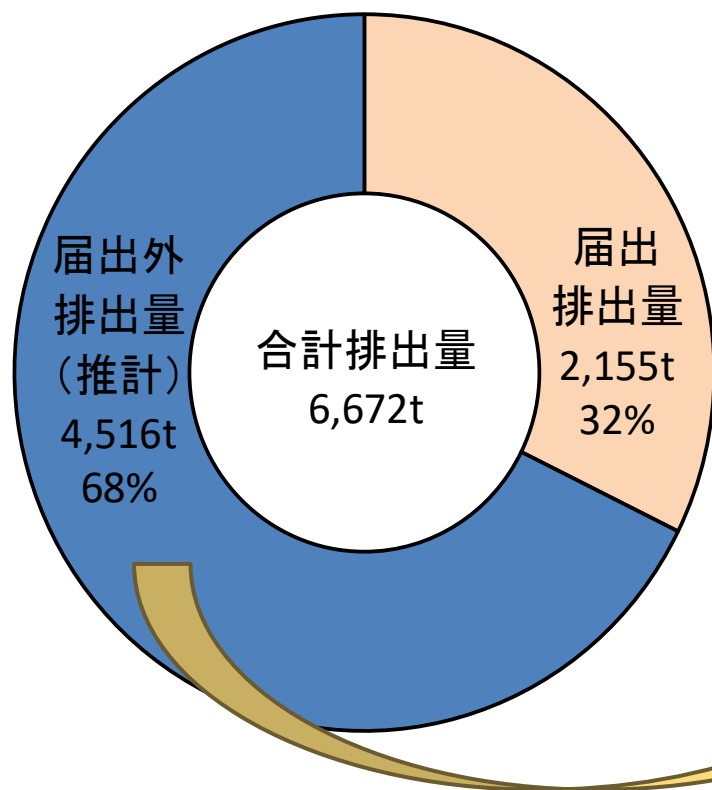
(全国)

政令改正前後で変わらなかった物質(継続物質)で比較すると、年々減少傾向。

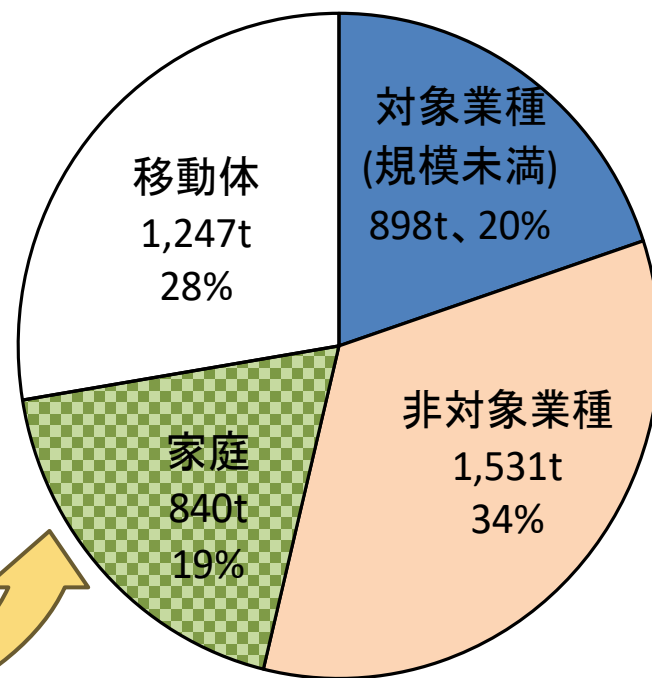
(4) 届出外排出量の状況



届出外排出量（新潟県）

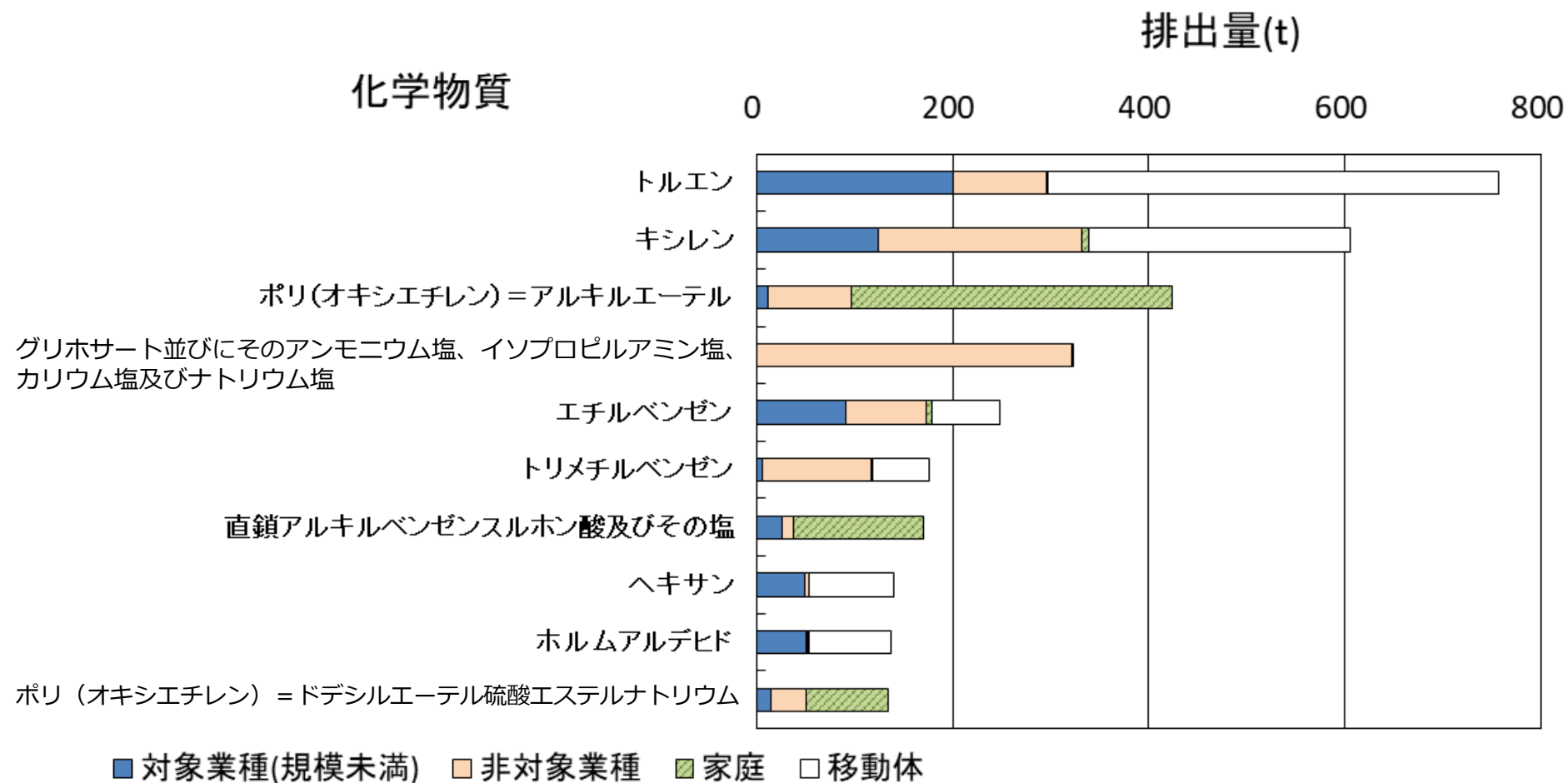


合計排出量(新潟県)



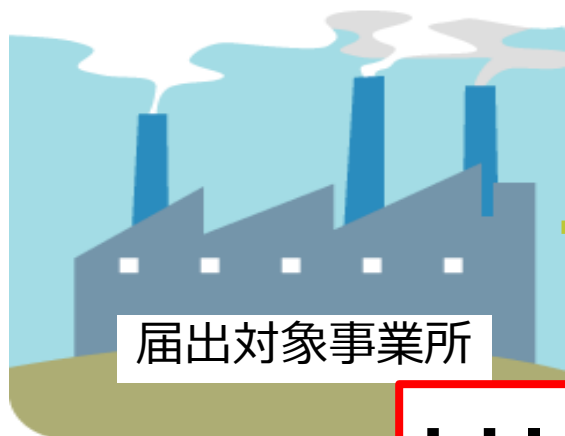
届出外排出量(排出源別内訳)

届出外排出量（新潟県）

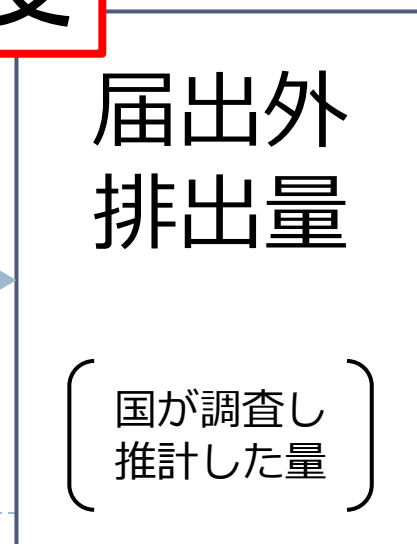


届出外排出量上位10物質（新潟県：排出源別）

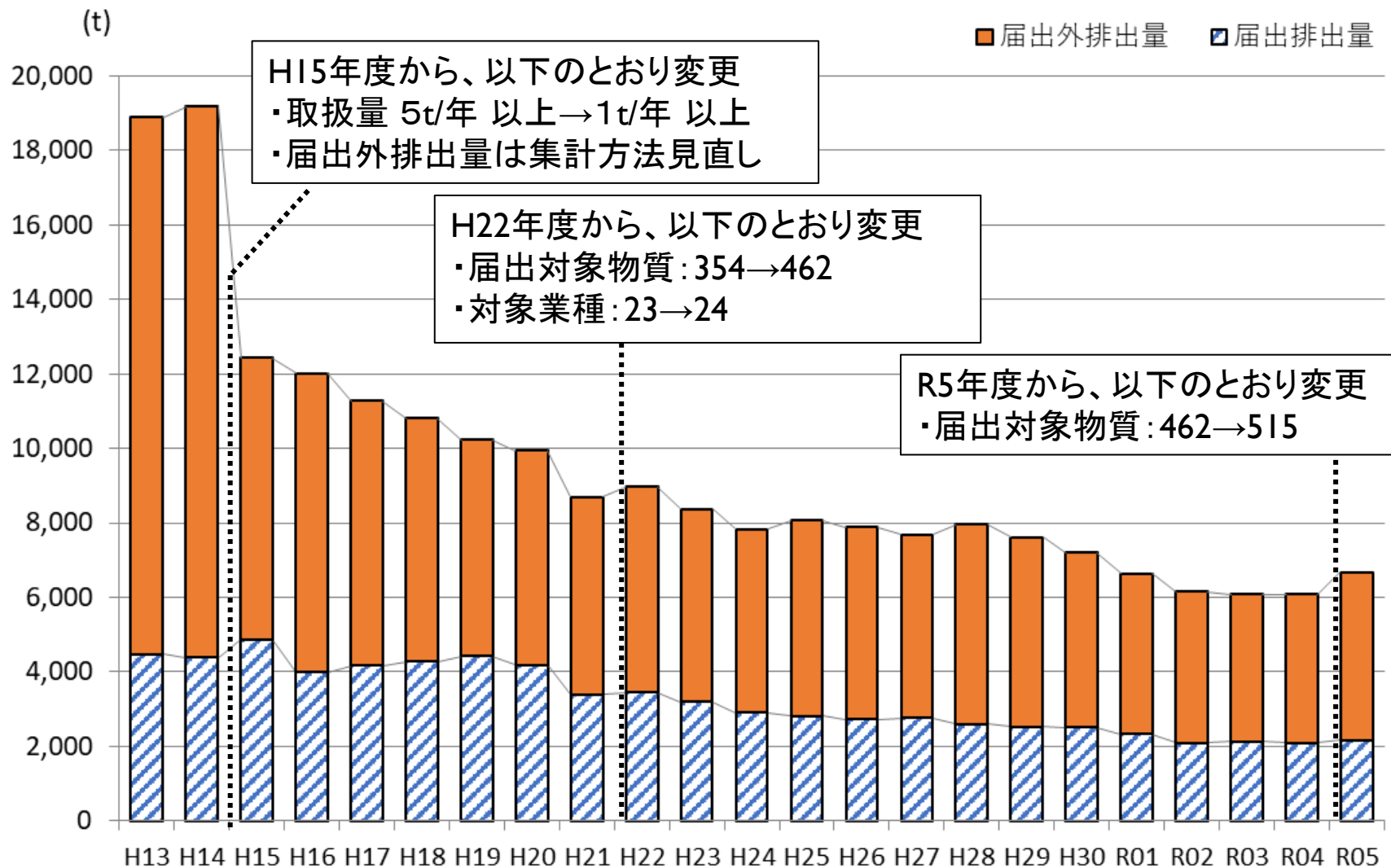
(5) 排出量（届出、届出外）の経年推移



H13～R5年度

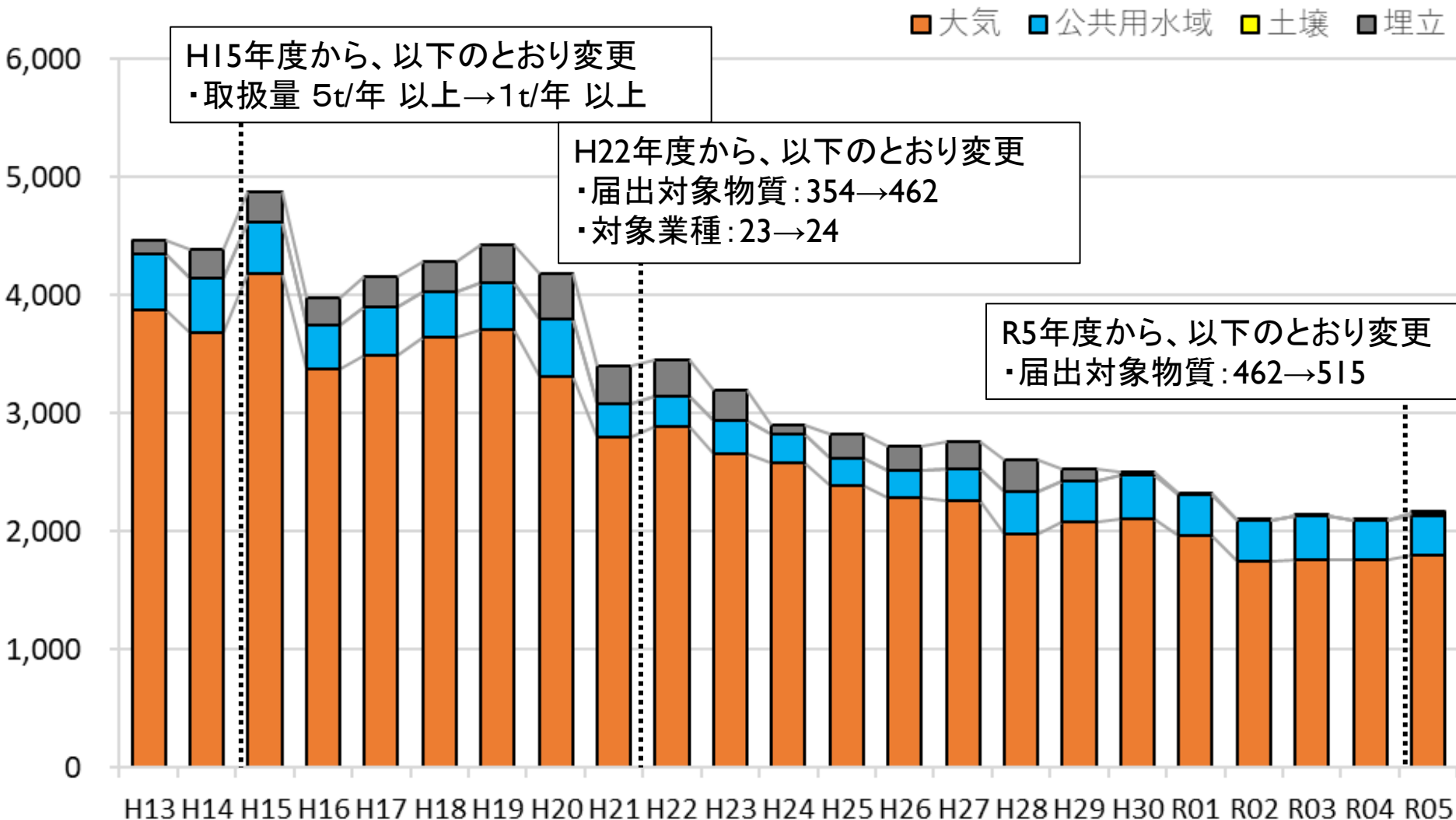


合計排出量の経年推移（新潟県）



総排出量（新潟県：H13からR5まで）

届出排出量の経年推移（新潟県）



届出排出量（新潟県：H13からR5まで）

まとめ

- ▶ 新潟県内の化学物質排出量（届出＋届出外）は全国20番目に多い
- ▶ 新潟県は全国と比べて特にトリクロロエチレンの排出量が多い（全国の届出排出量のうち約20%を占める）
※発がん性があるため、厳重な取扱いが必要！
- ▶ 化学物質排出量は年々減少傾向にある



ご清聴ありがとうございました

